



磯田 達伸 市長

大きな変化がある今をチャンスに
「人、人、人」で未来へつなぐ

活って生きやすい、愛にあふれるものだよって伝えてほしいです。
長部 想いにあふれてますね！僕は市長も言っていた「意志ある人」がつながること新たな価値を生み出せると思います。「世界えだまめ早食い選手権」も農業者以外のメンバーのおかげで、昨年は形を変えながらも活動を継続できました。農業には田畑というフィールドがありますが、他業種の

力を借りればもっと魅力を掘り起こせるはず。一人ではなくみんな、先人が守り続けた大切な長岡の田畑を後世に継承していきたいです！
川上 私は長岡だからこそできる学びを子どもたちにしてあげたいです。スキー授業の感覚で、発酵とかバイオとか、昔から身近にある地域の魅力を最大限に活かして大人になった時に、長岡が故郷で

あることを誇りに思ってもらえるように、当たり前にも身近にある長岡の魅力を伝えていきたいです。
市長 賛成です。長岡にある地域資源をさらに発信し、次世代に継承していく必要がありますね。
片野 柴木さんのお話にもありましたが、私は記憶に残るような体験を子どもたちに与えていきたいです。勉強だけがすべてではない。いろいろな価値に気付いてもらって、音楽でも何でも、オンラインを目標することが大事だと思います。それはまちづくりも同じこと。他のまちがやっていないことを、世界に向けていち早く発信できる、そんな長岡にしていきたいですね。
市長 今日は、みなさんの夢や長岡への想い、そして人とのつながりこそが大事だという認識を共有できてうれしく思います。長岡はこれまでも、度重なる苦境を、市民の力を結集して乗り越えてきました。とにかく「人、人、人」。地域に暮らす人が大事なんです。今こそ、米百俵の精神に立ち返る時。市民のみなさんが安心して健康に生活できる長岡の明るい未来を、一緒に築いていきましょう！みなさんありがとうございます。

長岡に息づく、米百俵の精神。

未来への“人づくり”を第一とする
私たちが大切に受け継いできた“心”です。
長岡市では、人材育成と未来への投資を加速させ、「新しい米百俵」への歩みをさらに進めていきます。

地方の生活、それ自体が文化 “生きやすい”場所を残していきたい



井上 有紀さん

東京から3年前に移住。学生U・Iターン支援などを行う「にいがたイナカレッジ」にいがたのシェアハウスで暮らすなど、最近の若者のライフスタイルを体験



井上 すごくいいですね。私はあえて、オフラインのプロジェクトに挑戦しました。地域とつながりたい県外出身の学生を募集して、農家さんからお米と手紙を送ってもらうんです。その後つながった学生から地域を訪れてもらい、世代間交流につなげていきます。
市長 どのくらいの応募が？
井上 100人ほどです。(全員驚き) 農家さんも学生からの心こもった返事にすごく喜んでくれて。新しいことをやるとこんなにも可能性が生まれるんだなって。今後も続けていきたいです。
市長 片野さんはまた違った形で子どもたちに音楽を届けてますね。
片野 はい。これまでは直接学校に行つて演奏を指導する出前講座(4ページ写真②)が基本でした。感染症対策などで合唱やリコーダーの演奏が難しい今、ただ鑑賞していなさってというのは違うのかなと。子どもの興味を引くよう、教員のみならずとも協力し、DVD「リリックススペシャル音楽教室」を作りました。笑いの要素やクイズ形式の内容にするなど、飽きさせないよう工夫しましたね。(全員 感心)

ています。「変化こそ、チャンスがある」と思えるかが大事です。みなさんは、まさしくそう思い、行動している。みなさん一人ひとりの取り組みが、米百俵の精神につながっています。
今後の夢、そして長岡のまちへの期待
柴木 ものづくり企業全体のイメージをもっと良くしていきたい。いまだにもものづくりの工場ってきつい、汚いというイメージを持たれがちですよ(笑)。だからお酒やお菓子の製造も実際に見せながら、「長岡版の工場見学ツアー」をやりたいんですよ。長岡が誇るものづくりの最新技術を一度見せてあげようって！
市長 挑戦ですね！
井上 昔ながらの空気が残る地方の生活って、それ自体がもう価値ある文化だと思っています。私が長岡に住んだ理由もそこに魅力を感じたから。アップデートも大事ですが、今ある魅力を絶やさないことが肝心。地域には外から来てくれるだけでめちゃくちゃ喜んでくれる人の温かさがあるんですよ。多くの若い人たちに、長岡での生

柴木 樹さん

アルミニウム合金を製造する(株)アルモの代表取締役社長。長岡のものづくり産業をPRする「ものづくりフェア」代表やNAZ副会長として、ものづくり人材の育成や産学連携などに尽力



長岡が誇るものづくり技術に触れる機会を増やしていく